

豊畑和進

旭市立豊畑小学校 学校だより

平成 29 年 1 月 25 日 No.14

縄跳び練習、がんばっています



旧年中は、保護者・

地域の皆様方に支えられ、授業や行事に、充実した活動をする事ができました。ありがとうございました。引き続きご支援ご協力をお願いいたします。

さて、2月1日に恒例の縄跳びチャンピオン大会を開催します。大会に向けて気持ちを高めるため、12月19日に「縄レンジャー」を招いて「ジャンプスクール」を行いました。縄レン

この学校だよりは、原則として月1回、各区長さん・町内会長さん方のご協力により、地区回覧板を通じて地域の皆様にご覧いただいています。



ジャーのパフォーマンスを見学し、代表児童による短縄競争を行いました。これまで見たこともない技や、ぴったり息の合った演技に、どの子も目を丸くしながら、夢中になっていました。

そして、1月10日から業間休みに縄跳び練習を開始しました。月・水・金は縦割りグループでの長縄を、火・木は学年ごとにまとまって、短縄の個人練習をしています。大会本番での子供たちの演技がとっても楽しみです。当日は学校公開日としていますので、地域の皆様もぜひ学校に足を運んでいただき、子供たちへの応援をよろしく願います。



防災訓練（火災） ~1/11~

訓練では、危険のない発煙筒を使い、防火扉を閉めて避難しました。普段と違う様子が戸惑いながらも、真剣に取り組み、貴重な経験となりました。その後、消防署員のご指導で、6年代表児童の消火器による消火訓練を行いました。



6年生社会科見学 ~1/13~

まずは国会議事堂と憲政記念館へ。委員会室や各政党の控室前の廊下を通ったり、天皇陛下の控室を見学したりと、その広さや作りの重厚さに圧倒されました。次に日本科学未来館へ。音や光を使った装置を操作するなど、体験を通して科学の魅力に触れました。このあと中学校で学ぶ理科で、一層科学への興味関心が高まることでしょう。



3年生社会科見学 ~1/18~

社会科見学で大原幽学記念館に行ってきました。まず、入口で全員が昔のかすりの着物を身に着けて見学がスタート。着物姿のまま館内に展示してある農業に関する昔の道具を触ったり、動かしてみたりと、体験を交えて調べてきました。その後、外に出てかやぶき屋根の昔の家を見学しました。どの子も熱心にメモを取りました。子供たちの世界がさらに広がったことでしょう。



☆作文の優秀作品を紹介します。

豊畑小では、「小さな親切運動」協力校として、「あいさつ運動」や「よいこと紹介」に取り組んでいます。この作文コンクールは、公益社団法人「小さな親切運動」本部の主催で、今年で41回目を迎えました。親切を受けて感動したり、親切ができなくて後悔したりした、素直な心の表現を評価するコンクールです。子供たちには、人を思いやる心や言葉について改めて考えるきっかけにしてほしいと思っています。今年の小学生の部の応募総数は、全国で12,181編にのぼり、その中で井上夢菜さんを含め、50編が入選となりました。井上さんは、なんと、昨年に引き続き2年連続での入選となりました。

全国「小さな親切運動」作文コンクール 入選

『親切のお返し』

4年 井上 夢菜 さん

「すみません」

冬の寒い日でした。私の家の前で若い外国の女性に声をかけられました。女性は大きな荷物を持っていて、けいたい電話の地図を見ながらどこかに行きたいようで道をたずねてきたのです。

地図には、研修センターと書いてあり、学校の近くでした。駅から歩いて来たという女性はとてもつかれているようでした。道を説明しましたが日本語がよくわからないようで、私も家族も英語が話せないし身ぶり手ぶりで説明しましたが時間ばかりすぎてしまいました。そこでお母さんが、荷物も重いだろうし、入口までならと車に乗せて送ってあげることにしました。

車の中でその女性は、アジアの国から来たこと、一人で不安だったけど日本人にたくさん助けてもらったことを話してくれました。

研修センターの前まで送ると、女性は何度も何度も「ありがとうございました」と頭を下げていました。

前に校長先生から、学校の近くにいろいろな国の人が農業の勉強に来ていますというお話がありました。私はそのことを思い出して、この女性もきっと日本に勉強しに来たんだと思いました。

研修センターにはいろいろな国から、勉強に来ている人が、たくさん住んでいます。最初は、少しこわいという気持ちがありました。でも、私の家の前を歩いていて通ることもあり、「こんにちは」と言ってくれたり、研修センターの前にある神社を毎日ほうきやくまででそうじをして、夏の暑い日でも、道の草とりやどぶのそうじもしてくれているのを見て、少しずつこわいという気持ちは、なくなっていきました。私はいろいろな国から集まっているんだから、食べるものも言葉もちがうのにみんなで力を合わせてそうじや草とりをしてくれている。日本で教えてもらっているからきっとそのお返しなのかなと思いました。

私達日本人も自分の住んでいる所を大切にしようという気持ちをもっともたなくては、いけないと思います。

これから日本に来る外国の方は、もっとふえてくると思います。知らない国に来る方はとても不安な気持ちをもっているのです。少しでも私達の日本に来てよかったなと思ってもらえるように手助けができるといいなと思いました。

徒歩や複数による登下校で、子供は様々なことを学んでいます

本校周辺は、信号機や歩道のある道路が少なく、交通量の多い道路もたくさんあります。特に朝は危険を感じる場面もあります。しかし、道路を横断した後に停まってくれた運転手さんにお辞儀をしてお礼するところなど、多くの方からお褒めの言葉をいただいています。子供の体力低下防止、異学年グループで上級生からマナーを学ぶ、車や道路環境への注意、途中で感じる季節の変化など、子供は様々なことを学んでいます。車で送迎されるご家庭も少なからずありますが、できるだけ徒歩通学を奨励していきたいと考えていますので、ぜひ、ご理解ご協力をお願いいたします。